

## 脇本商事の繊維のネタ帳 Vol.107

### 縫製副資材のお話～洗濯表示編⑦

みなさんこんにちは!  
前回に引き続き、洗濯表示についてお話していきます。

7回目のお話は『干し方の記号』についてです。

洗濯絵表示の中には右にあるような記号があります。  
この記号の意味の違いはお分かりですか～



タテ方向の1本線は「干し方」を示しています  
タテ方向は「つり干し」の意味です。衣類がタテ方向になるというイメージ。

それが2本線になると、「濡れつり干し」という意味になります。

現在の記号には絞りのマークが無くなりました。  
ですので、2本線の記号の場合には、、絞ってはいけません!!

濡れ干しは、シワになりやすい素材につけられます。「濡れ干し」にすることで  
脱水や絞りによるシワを防ぐことができ、乾燥後のアイロンが楽になります。

ただし、、水分の重みで生地が伸びやすくなるので、その場合にはタオルドライ  
で軽く水分をとるなど注意しましょうね～

絞りに注意が必要な場合には記号のほかに付記用語で説明している場合がありますので、洗濯表示をよく読んでみてください!

それではまた次回につづきます～♪



## facebook情報宅急便!

[www.facebook.com/kkwakimoto](http://www.facebook.com/kkwakimoto)

こんにちは!ポピンです～  
カーテンには「タッセル」と呼ばれるものがあります。  
語源はラテン語で、マントの留め具(Tassau)のことを「タッセル(Tassel)」と読んでいたことが由来のようですが、タッセルとはひもや糸を束ねた房状の装飾のこと。  
チェーン使いやコートヤリボン、トリム付きなど装飾の凝っているものもあります。  
靴やカバンやアクセサリーのパーツでもタッセルと呼ぶものもあります。  
カーテンにおいては、一般的にカーテンを開けたときに束ねて固定しておく縛り飾りであることを差しています。  
既製のカーテンもオーダーカーテンの場合も、多くは共地をつかって作ることが多いです。  
写真にあるものはその共地を使ったタッセルを作るときに使うもの。  
カーテンタッセルの端に縫い込んでいるコード(ひも)は長いコードをそのまま切りながら使う場合もありますが、写真のようにコードがウネウネと山道状になって固定して連続している専門の材料があります。  
そうすることで縫製の作業時にバラけることがなく、縫い外れもないようになります。

このように、繊維の副資材には使用目的に応じた材料が開発されているというわけですね♪  
さて、このカーテンタッセルですが、簡単に付け替えることができるので、自分の好みに合わせてアレンジすると部屋がお洒落になってグレードアップしたようになりますよー。  
シンプルでかわいいものから、アクセサリーに近い装飾的なもの、ゴージャスなものまでありますのでお気に入りのデザインのタッセルにして気分をリフレッシュしてみたいかがですか～♪



**NET PICKUP!** 博報堂生活総合研究所による生活者の意識調査  
定点調査で回答の変化を観測しています  
生活定点より <https://seikatsusoken.jp/teiten/answer/561.html>

**Q お金について、あなたにあてはまるものを教えてください。**

最新(2018年)調査結果

**日常的に電子マネーを使っている 47.6%**

初回(2006年)より35.5↑ 前回(2016年)より5↑

2006年と比較して35.5%も上昇していますね。  
地域差では首都圏のほう約19%ポイントが高い結果で、年齢別では20代が57.1%で全体よりも約10ポイント高いようです。キャッシュレス決済への流れはこれからも続いていくでしょうね。

**ラベルくん label-kun.com**  
WWW.LABEL-KUN.COM

**「政府広報オンライン」のご紹介**

「政府広報オンライン」の「暮らしに役立つ情報」で改めて新しくなった洗濯表示についてまとめています。ぜひ参考にしてみてください

**洗濯表示が新しくなって2年。あなたは正しく洗濯していますか?**  
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201812/2.html>

**編集後記**  
みなさんこんにちは!  
POSレジ最大手の東芝テックは、パールのネット通販向けに「商品の採寸が手軽にできる」3Dスキャンシステムを開発しなぞっています。  
これまでは、肩幅や着丈などの採寸情報をメジャーを使って人手で採寸していた手間と時間を4倍の効率で処理できる3Dスキャンは、マネキンなどに着せて撮影スペースの中央に置けば1分程度ででき、人数は数秒程度で3Dスキャンできるそうです。早いじゃありませんか。  
消費者もあらかじめ店頭などで自分の体をスキャンしておけば、商品の3Dモデルを照合して「パーチャル試着」ができます。  
ネット通販でパーチャル試着したときには、実際に着用したときにキツく感じる場所を色で示すなど可視化し、正確に把握できるという優れもの。  
パールのネット通販はサイズが合わないことを理由に返品率が高いけれど、店舗側にとっては返品率が高ければそれだけコストも低減できますね。  
もちろん自分の体に合った商品を購入できれば消費者の満足度も高まることだと思います。  
これに限らず、最近では3Dデータを集めるための技術開発は活発で、スマホによる採寸も進歩してきていて人工知能(AI)が全身を採寸する技術の外部提供も始まっているようですね。  
測るといった技術がいろいろなサービスや商品開発に応用されているのを感じます。  
でも、ネット通販でパレリ品を買う方はわざわざ店舗に行って自分の体を3Dスキャンして計測するのちやうと疑問です。  
10年後いや3年後には当たり前なのかもれませんね♪

【編集人/脇本康裕】

**Gadget Star** ジェットの星  
便利な商品をインターネットから探してご紹介するコーナーです♪

ガジェット通信より <https://getnews.jp/archives/2172229>

**飛行機の中で快適睡眠! 着るように使う旅行用毛布「The Layover」が画期的**

もうすぐやってくる夏休み、遠方への旅行を計画している人も多いだろう。  
でも、飛行機の中が寒く、備付けの毛布も小さく薄くて、よく眠れなかったという経験はないだろうか。  
今回登場したのは、飛行機の中や長い待ち時間での睡眠を快適にしてくれる、着るように使う旅行用毛布「The Layover」だ。

**コンパクトで持運び簡単**

The Layoverは、上質な旅のために作られた。素材にはナイロンを使用し、暖かく柔らかで、まるで家のベッドに寝ているよう。  
重量は320gと軽く、サイズは横105cm、縦170cm。付属の収納袋に入れると、横12.5cm、縦18cmとさらにコンパクトになるため、持運びも簡単だ。

**手足を入れるポケットがあり、スナップボタンで体にフィット**

そして、The Layoverのユニークな点は、手足を入れるポケットが付いていること。手を入れるポケット内部はフリース生地を使用しており、柔らかく気持ちよさそう。また、このポケットに接して貴重品ポケットも付いているので、安心して眠れる。足は、断熱性に優れたポケットに入れられる。

さらに、毛布の角にスナップボタンが付いており、首に巻いて毛布を固定できるということ。至れり尽くせり。これでフライト中に、足が寒くて目が覚めたり、毛布がずれ落ちるのを気にしたりせずに、ぐっすり眠れそう。

もちろん洗濯もでき、毛布同士をボタンで留めれば、毛布をつなげて使用できる。毛布として使わないときは、枕にもなり快適そのもの。防水性に優れ、帯電防止コーティングも施されている。

次のフライトで、ぜひとも使いたい毛布の登場だ。

※文章: ガジェット通信より抜粋